

留 学 報 告 書

平成 27年 5月15日

学 部 法文 学科・課程 言語文化

氏 名 西村茉莉

1. 留学先大学・学部 国名 フランス

大学名 オルレアン大学

現地到着日 (2014年 9月 1日) 授業開始日 (2014年 9月 日)

現地出発日 (2015年 5月 10日) 授業終了日 (2015年 4月 22日)

2. 日本を出発するまでの主な手続き及び準備

パスポートの取得、キャンパスフランスへの登録、東京のフランス大使館へビザの申請

3. 自宅から留学先大学までの交通手段 (乗物の種類, 乗り換え地, 所要時間)

前日: 特急やくも (出雲市駅→岡山乗換、4時間) 新幹線 (岡山→新大阪、1時間)、在来線 (新大阪→JR
日根野、50分、ホテル泊

当日: 飛行機 (関西国際空港→シャルルドゴール空港、12 時間)、TGV (シャルルドゴール空港→
SAINT PIERRE DES CORPS、2 時間)、TER (SAINT PIERRE DES CORPS→Orléans Centre、1 時間)、
Tram way (Gare d'Orléans →Les Aulnaies、30分) ホテル泊

9月2日: Tram way (Les Aulnaies→Parc Floral) 学校

4. 留学先大学での各種手続きの仕方

移民局: オルレアン大学の国際交流課へOFIIの提出書類を提出。

銀行: 大学のスタッフに案内されてフランスの口座開設、クレジットカードの取得、住宅保険へ入る。

寮: Résidence les Dahliaへ行き、入寮手続き。貸し出しの食器類を借りる。

保険: Chateauへ保険の加入申請。

5. 留学生へのオリエンテーションの内容及びプレースメントテストについて

オリエンテーション: 学内の案内、オルレアン市街の案内、スポーツアクティビティ

プレースメントテスト：講堂で筆記、リスニング、オーラルのテストを受ける。その結果から4段階に振り分けられる。

6. 授業の受け方，ペーパー及び試験の傾向等について

授業の受け方：プリントが配布され、記入。リスニング。PCを使った授業。先生、生徒間の会話。

試験：授業中に言われた範囲の問題。

7. 留学先大学で学んだ科目のうち特に良かったもの，後輩に勧めたいもの

音声学、オーラル

8. 留学先大学の住居の種類等について，後輩にどのような寮・アパートを勧めるか

ランクが3段階あり、1番上がLes HetresとLes Dahlias のStudioタイプ、2番目のLes ChateigniersとLes Rosesのキッチンのみ共有、3番目がLes OrmesとLes Hetresの風呂・トイレ・キッチン共有の3種類。

3番目は風呂トイレがない分広いが、共有スペースが清潔でない場合がある。2番目はベッドと机しかないが、綺麗。1番目は他の部屋の2倍広く、綺麗。1番目の寮のタイプの寮費と3番目のタイプの寮費では約2

倍異なる。Les Ormes, Les Hetres, Les Dahlias, Les Rosesは比較的大学から近いが、Les Chateigniersは学校から歩いて15分くらいかかる。しかし12階建てでエレベーターがあり、管理人が常にいる。

寮に入るならLes RosesかLes Chateigniersで十分だと思う。

9. 寮・アパート生活での注意，生活の様子（行事など），困ったこと，ルームメイトとの付き合い方，（いつから入れるのか，寮の開閉，寮が閉鎖中の滞在場所等）

・寮に洗濯機が1つしかないため、空いている時間帯を探る必要がある。忘れ物をしたら次の日にはなくなっているため、要注意。

・キッチンのコンロの使い方が最初はわかりにくいため、誰かに聞く必要がある。しばしば故障しているため注意が必要。

・入寮は、入寮日があらかじめ決まっていたとしても、頼み込めばその日より早く入寮させてくれる。

・寮の開閉は鍵で何時でもできる。

10. 留学先での金銭の扱い及び貴重品の管理について

(どのような口座を利用したか、現金とかカードの利用は、自宅からの送金はどうしたか等)

口座：学校の案内で開設した銀行で口座を開いた。

現金やカードの利用：現金を50ユーロ以上多く持つのは危険なので、銀行のカードでの支払いが多かった。

ATMから現金を引き下ろす際はATMにぴったりとくっつき、横からすられない様に注意しなければならない。

自宅からの送金：現地で開設した口座に送金。

11. キャンパス案内 (どんなとき、どこへ行けばよいか等)

・授業はLettresでしか授業がないため、迷わない。

・学食が3つとサンドイッチなど軽食が買えるところが2つある。学生ならメニュー (定食) で3.20ユーロ。

・フランス滞在での事務手続きはChateauで行われることが多い。

・寮の手続きはLes Hetresで行われることが多い。

12. 現地案内 (買物、銀行、レストラン、理髪店、美容院等の様子)

・学校の近くのL'Indian周辺は治安が悪い。

・買い物は中心街に行くことが多かった。

・食料品は、近くのスーパーが8時には閉まるため、急がなければならない。15分くらいTram wayに乗ったところに10時までやっているHyper Marcheがある。

・レストランも中心街まで行く必要がある。

・理髪店はたくさんあるが、アジア人の髪の毛は欧米人のそれとは異なるため、あまり予想通りにならないことが多いそう。普通にカット中に耳を切られたりするため、日本人経営の理髪店に行くことをすすめる。

13. 失敗談 (どんな小さなことでも)

・授業の教室が突然変更されていて、違う授業が行われている部屋に入ってしまった。

14. 病気になった場合の対応について (医療費はどのようになっていたか、保険等はどのようにしたか)

わたしは病院へ行かなかったのでわかりません。

15. お世話になった方々

IDFの先生方、クラスメイト、以前島根大学へ留学に来ていたフランス人学生、私が参加していたボランティア団体、“Soutien au Japon”の方々

16. 留学先国内旅行について（場所、手段、費用、旅行社等）

オルレアンからパリへTERで出て、パリから近いところはTGVなどで移動、南仏など距離があるところはオルリー空港から格安飛行機会社を使って移動。

17. 気候と服装について

10月くらいまでは日が落ちるのがとても遅く、からっとした暑さが続いた。冬は雨が多く、寒い。私は普通のコートとユニクロのウルトラライトダウンジャケットの2枚を重ねて冬を越した。4月からまた日が長くなり、暑くなる。ただし、夜は冷え込む。

18. 日本からぜひ持っていきたいもの（学用品、衣服、食品、薬、運転免許証等）

単語帳、日記帳、ヒートテック、だしの素、緑茶、

19. 留学に際し最も役立った本は（専門書、旅行案内書を含めて）

地球の歩き方（ヨーロッパ）、パリ観光用の本

20. ホームステイの依頼方法

わたしはしていないのでわかりません。

21. 留学費用について

1) 旅費	1700ユーロ（往）	110000円,	（復）	110000円
2) 準備費用				50,000円
3) 大学へ納入する費用				円
授業料（年間合計）				円
保険等その他の費用				28,340円
4) 住居費（光熱費等含む）	250*9*130			162,500円
5) 衣服代、その他雑費				200,000円

6) 帰国時の土産代, 郵送料等	50,000円
7) 留学先国内旅行費用	200,000円
8) 上記を含めその他すべてを含めた合計金額	1,360,840円
現地通貨10,468ユーロ	日本円換算 1,360,840円

22. 帰国時の荷物の作り方, 送り方等

まだ着られるがもう必要ないものはバザーへ。冬物や授業のノートなどは荷物として先送っておいた方が
 良い。送るには、日本から家族が送ってくれた荷物の入っていた段ボールを利用し、郵便局へ持っていく。

23. 留学して得たこと (全般についての感想文)

生活面：留学をするまでは、私自身引っ込み思案で初対面の人とうまく会話をするのが苦手でした。しか
 し、留学を通して、フランス人のオープンな性格や、人と接していかなければうまくいかないことに多くぶ
 っかかり、性格を変えていかなければならない状況になりました。そのため、今では新しい出会いが楽しみに
 なりました。

学力面：初めのうちはやはり授業についていけず、戸惑うことばかりで、周りの人に授業の後質問をした
 りして、先生に直接質問をすることさえできませんでした。しかし、だんだんと授業の内容が分かるよ
 うになり、授業中に先生へ質問をし、それを理解するまでになりました。自分自身の学力の向上に関して
 はなかなか自覚することができず、不安に思ったこともありましたが、TCFというフランス語能力テストを受
 けることにより、自分に自信を持つことができました。

環境面：日本には見ることもなかった、街をパトロールする銃を持った軍隊の人やパリで起きたテロ
 などを近くで見聞きして、「身の安全」ということを強く意識するようになりました。「安全」に対する感
 覚が大きく変わったと思います。